

植物多様性センターの「カンガレイとサンカクイ」

カンガレイ（寒枯藺）とサンカクイ（三角藺）。初めて聞いたら植物の名前とは思わないかもしれませんが。じつはどちらもカヤツリグサ科の抽水植物でよく似ています。根っこは水の底の土の中ですが、葉や茎は水上に出た状態で成長します。どちらも三角の緑の棒のような植物で、花が咲いてもそっくりです。みなさんはどこが違うかわかりますか？



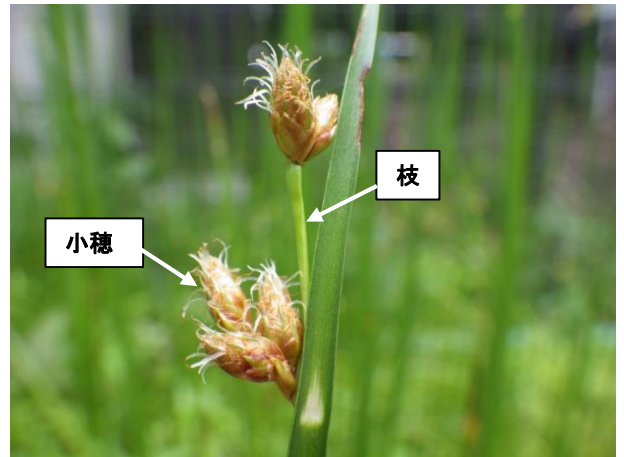
カンガレイ:小穂の出る面に小さな白い窓ができる



サンカクイ:小穂の出る面は縦に白い窓、側面は白い点のみ



小穂:茎から頭状に直につく。柱頭は3つに分かれる



小穂:基部には枝がある。柱頭は2つに分かれる